

平成28年度 大阪市人権啓発・相談センターにおける啓発事業の取組みについて

地域密着型市民啓発事業

地域に根ざした啓発の担い手として活動している、人権啓発推進員の育成を図る。

(事業目的) 大阪市人権啓発推進協議会会長から委嘱を受けた人権啓発推進員が、当事業で実施する研修等で習得したスキルを活用することにより、各区・地域における人権啓発事業に参加・参画し、人権啓発事業の一翼を担える力を養うなど地域における人材育成をめざす。

(取組み方向) ・各種研修会の実施にあたっては、より効果的な研修内容となるよう、研修手法やテーマを設定するとともに、開催日程や時間帯を工夫し、参加率の向上に繋げる。
・人権啓発推進員のモチベーションの向上等を図るため、人権情報誌「KOKOROねっと」やホームページ、FB等を活用し、人権啓発推進員制度や活動事例について積極的に広報を行う。

(事業の目標) 各研修受講者へのアンケートにおける「役に立った」並びに「活用できる」評価:80%以上

(事業の目標達成状況)

各研修受講者へのアンケートにおける「役に立った」評価:94.9%、「活用できる」評価:87.2%

	事業名	実施時期	事業内容
	研修名等		
人権啓発推進員の育成事業	養成研修	[第1講義] 6月9日昼 6月13日昼 6月14日夜 [第2講義] 6月22日夜 6月23日昼 6月28日昼	新たに就任した推進員を対象に基礎的な人権問題の知識や傾聴・会話方法等の手法について習得するとともに推進員の任務・役割等について理解を深めることを目的に実施。 養成研修 テーマ:「肩の力を抜いて学ぼう 人権啓発推進員と人権の気づき」 [第1講義]「地域に人権文化の花を咲かせる 人権啓発推進員って？」 ～その役割と実践スキルを学ぶ基礎研修～ 講 師:金 香百合(HEALホリスティック教育実践研究所長) 参加者:のべ 93名 [第2講義]日常生活の中の「ことば」や「表現」、慣習等を人権の視点から考える 講 師:浮穴 正博(天理大学講師) 参加者:のべ 90名
	全体研修	[1回目] 7月14日昼 [2回目] 7月19日夜 [3回目] 7月20日昼	全推進員が地域において人権啓発活動等を実施するために必要とされる地域が抱える今日的な人権課題の習得を目的に実施。 [1～3回目] テーマ:「障がいのある人も、ない人も共に生きる社会を」 ～「障害者差別解消法」を知ろう～ 講 師:椎葉 正和(福祉情報センター・共働事業所b-free、 大阪教育大学教育学部非常勤講師) 参加者:のべ 395名
	推進員間の情報共有等を目的とした研修	[1回目] 2月23日昼 [2回目] 2月23日夜 [3回目] 3月10日昼	各区・地域における推進員の役割と任務の実態や手法を講座型研修で習得し、各区推進員活動の発表を通して交流し意識を深めることを目的に実施。 タイトル:知ろう 学ぼう 人権啓発推進員 内 容: 主な取組み事例の紹介(事務局)と推進員による補足説明 地域で支える子ども支援の事例(ひだまり塾(東成区・東さくら園)) 事例報告から考える「人にやさしいまちづくり」(コメンテーター) コメンテーター:寺川 政司(近畿大学准教授) 参加者:のべ 名(未実施)
	リーダー養成研修	[第1講義] 11月15日夜 11月17日昼 [第2講義] 11月17日夜 11月21日昼	推進員が地域活動に必要なファシリテート力や事業企画力等のスキルアップを行うことにより、地域における推進員活動の中心的役割を担えるリーダーの養成を行うことを目的に実施。 テーマ:「身に着けよう!会議のスムーズな進行」(仮称) 講 師:宝楽 陸寛(NPO法人SEIN事務局長) 参加者:のべ 67名 各区2名程度の人権啓発推進員
	人権教材等の提供	随時(年4回)	推進員活動に必要な知識の習得を目的とし、人権教材及び人権啓発情報誌「KOKOROねっと」を送付。

人権啓発推進員

平成元年に発足。

大阪市人権啓発推進協議会会長が委嘱し、現在811名(平成28年8月)が任命されている。

各区人権啓発推進(協議)会の各種啓発事業への参加など各区と協働し、地域に根ざした啓発活動を展開している。

市民啓発広報事業

さまざまな媒体等を活用し、市民に人権問題への理解を深めていただくよう広報を行う。

(事業目的) さまざまな人権問題に関する映像ソフトや教材冊子を購入・作成し、広く市民等に貸し出しを行うことにより、市民の人権への関心と人権意識の向上をめざす。

(取組み方向) ・利用者の要望等も勘案しながら、新たなジャンルも含め選定・購入する。
 ・利用者の拡大やリピーターの確保に向け、ホームページに加え、人権情報誌「KOKOROねっと」、FB等を活用し、幅広い広報に努める。

(事業の目標) 映像ソフト利用者へのアンケートにおける「役に立った」評価:80%以上

(事業の目標達成状況)
 映像ソフト利用者へのアンケートにおける「役に立った」評価:96% (平成29年1月末現在)

事業名	実施時期	事業内容
啓発資料作成・増刷及び啓発映像ソフトの購入	随時	啓発資料の保有数計 108種(平成29年1月現在) (内訳) ・男女共同参画 4種 ・高齢者 3種 ・子ども 4種 ・障がいのある人 2種 ・多文化共生 6種 ・同和問題 5種 ・個人情報保護 3種 ・人権総論 41種 ・職場・企業の課題 8種 ・さまざまな人権課題(犯罪被害者・ハンセン病・など) 14種 ・その他(演劇ストーリー) 18種 映像ソフトの保有数計 390作品(平成29年1月現在) (内訳) ・男女共同参画 25作品 ・高齢者 11作品 ・子ども 35作品 ・障がいのある人 25作品 ・多文化共生 12作品 ・同和問題 68作品 ・個人情報保護 16作品 ・世界人権宣言・国際人権等 11作品 ・人権総論(ドラマ・ドキュメンタリーなど) 59作品 ・職場・企業の課題 61作品 ・さまざまな人権課題(犯罪被害者・ハンセン病・HIVなど) 30作品 ・その他 37作品 [平成28年度実績](平成29年1月末現在) 貸出しソフト本数:812本 視聴(延べ)人数:72,216人

(事業目的) 人権啓発情報誌によるさまざまな人権問題や啓発事業等に関する情報発信を行うことにより、市民の人権への関心と人権意識の向上をめざす。

(取組み方向) 若者層や地域レベルでの人権の取組みを掲載するなど、誌面内容の充実を図る。

(事業の目標) 読者アンケートにおける「役に立った」評価:80%以上

(事業の目標達成状況)
 読者アンケートにおける「役に立った」評価:96.3% (第29号～30号回答分)

事業名	実施時期	事業内容
人権啓発情報誌の発行	6月1日 9月1日 12月1日 2月1日	・「大阪市人権だよりKOKOROねっと」を年間4回発行。 ・各回27,000部(6・12月は企業啓発用として、9月は参加・参画型事業「セレッソ大阪と連携した人権啓発事業」に配付用として増刷)。 ・地域情報や若年層をターゲットとした啓発ページを設ける。 ・本市関係施設、市営地下鉄駅、市内中・高校等へ配架。 ・点字版を作成し、区役所、中央図書館、視覚支援学校等へ配架。 ・より多くの若年層に訴求するような分かりやすく読み易い、魅力ある情報誌作りに努める。 ・特集テーマ ダイバーシティの観点から 第29号(H28.6月)「学校のいじめ」 第30号(H28.9月)「多文化共生」 第31号(H28.12月)「LGBT“個”の尊重」 第32号(H29.2月)「病気への偏見」

<p>人権啓発情報誌の発行</p>	<p>6月1日 9月1日 12月1日 2月1日</p>	<p>第29号(6月1日発行) 特集テーマ 学校のいじめ いじめが無くならない要因は？認め合う事から始めよう。 大阪市からのお知らせ 人権に関する作品募集事業入選作品決定、就職差別撤廃月間 若者と企業の就活応援 「トライアル雇用」を知っていますか？ Human Interview ちょっとだけグダグダ、ゆるゆるになってみようよ。 連載コラム インターネット社会 インターネットとコミュニケーションの関係</p> <p>第30号(9月1日発行) 特集テーマ 多文化共生 人それぞれ違って当たり前。その違いを学び、ともに生きる。 若者の就活応援 ささまざまな就活支援がありますがご存知でしたか？ 大阪市からのお知らせ 人権に関する作品募集事業キャッチコピー募集等 Human Interview 正しいことを言い続ければその想いは必ず社会に届く 各区の取り組み 各区の取り組みを紹介します 連載コラム インターネット社会 自分の個人情報を自分で流出させてしまう。</p> <p>第31号(12月1日発行) 特集テーマ LGBT“個”の尊重 カラダの性とココロの性は人それぞれ。多様な「性のカタチ」を考えよう。 Human Interview カミングアウトは信頼の証 話してくれてありがとう… 大阪市からのお知らせ 人権週間等 人権相談の現場から 職場でのパワハラ 連載コラム インターネット社会 あなたのインターネットライフは大丈夫？</p> <p>第32号(2月1日発行) 特集テーマ 病気と人権 病をネガティブにしない社会へ！ Special Interview 中島 ヒロト(FM802ラジオD) 若者と就労 「若者の使い捨て」！？こんな言葉を聞いたことはありませんか？ 人権啓発推進員の活動状況 地域で頑張っています！ Human Interview どんなにつらくても「生き抜く」ことを学んでほしい 連載コラム インターネット社会 インターネット被害から自分を守る！</p>
-------------------	---	--

事業名	実施時期	事業内容
<p>ホームページ、フェイスブック等を活用した啓発広報</p>	<p>随時</p>	<p>(ホームページ) [http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/category/3054-1-2-21-2-4-0-0-0-0-0.html] (フェイスブック) [https://www.facebook.com/shimin.osaka]</p>

【大阪市人権だよりKOKOROねっと】

第29号



第30号



第31号



第32号



参加・参画型事業

市民が主体的に人権を学ぶ機会を提供する。

(事業目的) 広く市民、とりわけ人権への関心が低いと言われる若年層を対象に、人権に関する作品の創作活動を通じて人権意識の醸成を図るとともに、入選作品の展示会、啓発・広報事業への活用を行うことにより、幅広く市民への啓発をめざす。

(取組み方向) 小中高校生及び一般の方を対象に、キャッチコピーを募集し、優秀作品を人権啓発の広報物等に活用する。
・これまでのポスター等デザインやフォトなどの優秀作品を融合させてポスター化等を行い活用する。

(事業の目標) 作品応募者へのアンケートにおける「人権問題への関心が深まった」 評価:80%以上

(事業の目標達成状況)

作品応募者へのアンケートにおける「人権問題への関心が深まった」 評価: 集計中

事業名	実施時期	事業内容
人権に関する作品募集事業	[作品募集] 9月20日～ 10月14日 [表彰式] 29年3月11日	人権に関する作品を募集し、優秀作品をさまざまな人権啓発の広報印刷物等に活用するとともに、各区等の人権啓発事業に活用。 応募作品数 計6,961作品(うち無効4) (27年度応募作品数5,411作品) ・内訳 小学生(低学年)2,037 小学生(高学年)2,352 中学生1,702 高校生536 一般326 無記入4 入選作品数 計70作品 ・内訳 各区分、大阪市長賞1 特別奨励賞1 優秀賞5 佳作7 表彰式 ・場所 イオンモール鶴見緑地 1Fグリーンコート ・内容 表彰式及びイベント(落語家露の新治氏による人権高座)を実施

平成28年度「人権に関する作品募集事業」(キャッチコピー)の入選作品(一部)

小学生(低学年)の部 大阪市長賞 (いじめ問題)

「やめようよ なかまはずれと みないふり」

小学生(高学年)の部 大阪市長賞 (いじめ問題)

「やめたれや、自分がされたら いややろう」

中学生の部 大阪市長賞 (いじめ問題)

「『遊んでた。』いじめた人が言う言葉。」

高校生の部 大阪市長賞 (人権全般)

「『それはあかん』と言える勇気と聞く心」

一般の部 大阪市長賞 (LGBTなどの性的少数者をめぐる人権)

「僕の赤い糸は、彼でした。」

(事業目的) 小学校の児童等が協力し合って花を育てることを通じて、協力、感謝することの大切さを生きた教育として学び、生命の尊さを実感する中で、人権尊重思想を育み、より豊かな人権感覚を身につけてもらう。

(取組み方向) 全国一斉に国の基本方針に沿って、人権啓発活動地域ネットワーク協議会事業として実施されており、継続して実施していく。

(事業の目標) 実施校へのアンケートにおける「児童の人権に対する関心や理解は深まった」評価:80%以上

(事業の目標達成状況)

実施校へのアンケートにおける「児童の人権に対する関心や理解は深まった」評価: 集計中

事業名	実施時期	事業内容
人権の花運動	9月～29年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・主催 人権啓発活動大阪地域ネットワーク協議会 (大阪市、大阪法務局、大阪第一人権擁護委員協議会等) ・対象 市内小学校25校 ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・各校に花の球根、プランター、培養土等を配付して児童により花を育成 ・各校を担当する人権擁護委員が球根の植え付けと一緒に実施 ・人権擁護委員が植え付け時や開花時期等に人権講話や映像ソフトを用いた人権教室を開催

(事業目的) 青少年など若者層が興味のあるサッカーゲームの場を活用した啓発活動を実施することにより、青年層をターゲットとした人権への関心と人権意識の向上をめざす。

(取組み方向) 全国一斉に国の基本方針に沿って、人権啓発活動地域ネットワーク協議会事業として実施されており、継続して実施していく。

(事業の目標) イベント実施ゲームでの来場者へのアンケートにおける「人権問題への関心が深まった」評価:80%以上

(事業の目標達成状況)

イベント実施ゲームでの来場者へのアンケートにおける「人権問題への関心が深まった」評価:91.6%(アンケート協力者数359名)

事業名	実施時期	事業内容
Jリーグセレッソ大阪と連携・協力した人権啓発事業	4月～29年3月	ホームゲーム21試合のハーフタイムに、電光掲示板に人権啓発スポット広告(選手による「いじめNO!」メッセージ)を各30秒放映。
	10月2日	公式戦ホームゲームにおける人権啓発活動 ・場所 ヤンマースタジアム長居 ・内容 子どもによる人権サポーター宣言の実施、啓発横断幕を持つての場内一周啓発物品の配布 など (入場者数) 23,781人
	1月29日	小学生を対象とした事業の実施 子どもサッカー教室を開催し、子どもが楽しく人権を学ぶ機会を提供。 ・場所 セレッソフットサルパーク(大阪市北区大淀中) ・内容 セレッソ大阪のスクールコーチと共にサッカーを通じて、人権や人と人とのつながりの大切さなどについて学ぶ。 ・参加者/申込者 小学校3年生～6年生 41/57名 (27年度 小学生低学年 51/70名 小学生高学年 30/43名)

企業啓発推進事業

企業・事業者等における人権啓発や人権研修への支援に取り組む。

(事業目的) 各種研修会等で習得した知識等を活用して、企業市民である企業・事業所等の事業主、従業員等の人権意識の向上と公正採用選考制度の普及啓発をめざす。

(取組み方向) より効果的な研修内容となるようなテーマや講師選定を行うとともに、参加者の拡大にも繋げる。

(事業の目標) 各研修受講者へのアンケートにおける「役に立った」並びに「活用できる」評価:80%以上

(事業の目標達成状況)

各研修受講者へのアンケートにおける「役に立った」評価:90.9%、「活用できる」評価:89.4%

	事業名	実施時期	事業内容
	研修名等		
企業啓発支援事業	人権啓発講座 (入門・基礎編)	4月28日 5月20日	次代の人権啓発を担う若年層従業員を対象に人権に関する基礎知識や人権感覚を習得することを目的に実施。 テーマ :「この社会をつくる個人と組織のあり方」 講師 :武田 緑(一般社団法人コアプラス代表理事) テーマ :「企業活動と人権問題」 講師 :芝本 正明(大阪企業人権協議会サポートセンターセンター長) 参加者:のべ 688名 (27年度711名)
	人権啓発講座 (実践編)	[前期] 7月19日 [後期] 11月22日	人権啓発研修等のスキルアップをめざす従業員や管理職等を対象に、企業や地域における人権研修の実施手法等のより実践的なスキルを習得することを目的に実施。 [前期] テーマ:「企業における人権研修の具体的な方法を学ぶ」 講演 :「人権研修の企画・運営のポイントを学ぼう」 実践 :「人権研修の実践スキルを身につけよう」 講師:芝本 正明(大阪企業人権協議会サポートセンターセンター長) 参加者:207名 [後期] テーマ:「企業における人権研修の具体的な方法を学ぶ」 ~より良い職場環境をめざして~ 講演 :「人権侵害の現状からハラスメント問題について認識を深めよう」 実践 :「ハラスメント問題に係わる教材を活用して人権啓発の進め方を学ぼう」 講師:桑野 里美((有)ビジネス・パートナー・オフィス代表取締役) 参加者:299名
	経営層 人権啓発講座	9月9日	事業主・経営者層を対象として、女性活躍に関する人権課題や障がい者雇用に関する人権課題、ダイバーシティマネジメントに関わる人権課題、企業の社会的責任(CSR)等について経営責任者として求められる人権に関する知識や人権感覚の習得を目的に実施。 テーマ :「女性活躍推進は人材育成あってこそ」 ~成否のカギは上司と企業が握る~ 講師:大内 章子(関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 准教授) テーマ :「人権尊重の職場づくり」 ~真の障害者雇用とは~ 講師:渡邊 幸義(株アイエスエフネット 代表取締役) 参加者:546名 (27年度平均516名)

企業啓発支援事業	労務・人事担当管理職を対象としたブロック別研修 参加数 平均174名 (27年度170名)	【Aブロック】 11月9日	労務・人事担当の管理職等を対象に、セクハラ・パワハラ等、労務に関連する人権問題の対応策を習得することを目的に市内を5つのブロックに分割し、それぞれで実施。 【Aブロック(北区・都島区・旭区・東淀川区)】 [第1部] テーマ:「女性が活躍する社会とは…」～企業として取り組むこと～ 講師:谷口 真由美(大阪国際大学グローバルビジネス学部 准教授 (一社)部落解放・人権研究所 理事) [第2部] テーマ:リーダーのためのアンガーマネジメント 講師:徳山 和宏(徳山オフィス代表、研修講師、コーチ、理学療法士) 参加者:196名
		【Bブロック】 12月13日	【Bブロック(大正区・西区・浪速区・港区・此花区・福島区・西淀川区)】 [第1部] テーマ:ハラスメント対策～知って得する、怒りのコントロール実践講座～ 講師:小出 民雄((一社)日本産業カウンセラー協会認定産業カウンセラー) [第2部] テーマ:新ちゃんのお笑い人権高座～笑顔で暮らす、願いに生きる～ 講師:露の新治(落語家) 参加者:181名
		【Cブロック】 10月4日	【Cブロック(中央区)】 [第1部] テーマ:「男女共同参画と私たちの未来」～意思決定の場に女性を～ 講師:白井 文(前尼崎市長。(一財)大阪府男女共同参画推進財団業務執行理事) [第2部] テーマ:「メンタルヘルスと人権」自分も家族も会社(職場)も日本も元気にする～ストレスチェック制度の意義について～ 講師:山本 晴義(横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセンター長・医学博士) 参加者:208名
		【Dブロック】 1月27日	【Dブロック(天王寺区・東成区・生野区・城東区・鶴見区)】 [第1部] テーマ:職場におけるパワハラ問題の基本的理解と防止に向けて 講師:金井 敬三(大阪企業人権協議会 サポートセンター専任講師) [第2部] テーマ:LGBTのこと、そして人権～誰もが生きやすい社会へ～ 講師:南 和行(なんもり法律事務所 弁護士) 参加者:122名
		【Eブロック】 2月14日	【Eブロック(阿倍野区・住吉区・住之江区・東住吉区・平野区・西成区)】 [第1部] テーマ:大笑いゼーションでノーマライゼーション～障がい者ととも働き生きるとは～ 講師:桂 福点(落語家) テーマ:ネット社会と人権～現状把握と、そんなネット事情のネット世代への向き合い方～ 講師:黒田 恵裕(奈良県啓発連協インターネット掲示板 差別書き込みについて考えるプロジェクト会議幹事、奈良県外国人教育研究会事務局次長) 参加者:164名

その他

事業名	実施時期	事業内容
効果検証会議	29年2月24日	人権啓発・相談センターで市民を対象に、全市的に実施している人権啓発事業及び人権相談事業について、学識経験者、専門家を構成員とする効果検証会議を設置し、より厳密な効果検証を行い、PDCAサイクルの徹底を図り、より効果的・効率的な事業となるよう改善を図るとともに、次年度予算に反映する。 [内容] ・平成28年度人権啓発・相談センターにおける実施事業を対象 ・参加者アンケート等を中心に事業目的・成果指標を検証・分析 ・各事業の改善点等を抽出し、今後の事業展開へ反映